

VIDA DE SAN MILLÁN DE LA Cogolla III

Translated by Tsuyomasa Ota

Abstract

It is believed that this work was written between the years 1230 and 1236, and probably the first work that the cleric Gonzalo de Berceo composed and narrates the life of the saint catholic San Millán (in Latin *Sanctus Aemilianus*). He was a priest and hermit, and founder of the beneditine monastery which bears his name. He lived between the years 474-574.

It seems that this work written in the erudite form of cuaderna vía (four-fold way) is inspired by the hagiography in latin by the bishop San Braurio de Zaragosa en los tiempos de visigoths en el siglo VI.

This time traslation is made from the strophe 320 to 489.

聖ミリヤン・デ・ラ・コゴリヤの生涯Ⅲ

ゴンサロ・デ・ベルセオ作 太田強正訳

作者 Gonzalo de Berceo は西ゴート支配時代に現在の Rioja 自治州 Logroño 県の Berceo 村に 1200 年の数年前に生まれ「教養派文学」(Mester de Clerecía) の詩人として多くの作品を残した。これは中世スペインの主に聖職者による文学の流派で、読み書きのできない吟遊詩人(juglares) による mester de juglaria と対をなすものである。

この作品は San Braulio de Zaragoza によってラテン語で書かれた聖人伝 Vita Beati Emiliani にベネディクト会の修道院の司祭であった Berceo が着想を得たものであり、cuaderna vía と呼ばれる 1 行 14 音節同音韻 4 行詩で 13 世紀に書かれている。

この舞台となった修道院は聖 Millán (474-574)、ラテン語で Sanctus Aemilianus によって建てられたもので、ここで 10 世紀前半にスペイン語の最初の記録である Glosas Emilianenses (サン・ミリヤン註解) が書かれた。彼は自分の建てたベネディクト会の修道院の司祭であり隠者でもあった。

今回は第 320 連から 489 連までを掲載する。訳は言葉が違うので韻を踏ませることはできなかったが各行ごとに付けた。そのため日本語として通るように原文にない接続詞などを補わなければならない箇所があった。

本稿は BIBLIOTECA CASTRO の OBRAS COMPLETAS GONZALO DE BERCEO によるが英訳も参照した。

第三部

聖ミリヤンの死後の奇跡と誓い

- 320 皆さん、私はまだこのことについて扱いたいと思います
 まだ彼が私を導ってくれるので、彼についてあなたたちに話したい
 と思います
 題材は価値ある人の長いものです
 それを中断することはあなたたちにとって非常な信用の失墜とな
 るでしょう
- 321 我々が話そうとしている第三の小冊子は
 聞くに心地よい貴重な奇跡についてです
 もしあなたたちが私を我慢してくれる親切をお持ちなら
 こんなに早くあなたたちと別れようとは思いません
- 322 全地に早く伝わりました
 聖なる人がこの世から去ったこと
 聖人として非常に完璧だったことが証明されたこと
 死後多くの病人を治したことが
- 323 ある町に非常に難儀している二人の盲人がいました
 すべてに不足して非常に悲惨な生活を送っていました
 彼らはこういう良き知らせを聞き
 見えるようになると大きな希望を抱きました

- 324 二人とも案内人と共に家を出て
杖をついて道に就きました
二人の男は苦労して墓にやって来ました
しかし彼らは心の中では喜んでいました
- 325 彼らは大きな声を上げました、それが彼らの習いなので
《主よ》、と彼らは言いました、《我々を助けてください、我々の
苦しみを聞いてください
あなたは我々の不足と大きな不運をご存じです
いかにして我々はずっと暗闇の中で生きるのでしょうか
- 326 御主人様、あなたは非常に力のある方です、あなたのために神は
多くをしてくださいます
あなたは全地の救いと庇護です
この罪びとたちのために聖なる父に願ってください
我々の長い嘆きを終わらせてくださいるように
- 327 御主人様、我々を治してくださらないなら、決してここから立ち
去ることはないでしょう
そのために来たのですから、ここに留まるでしょう
お父様、もしお望みなら、我々は固く信じます
我々が求めていた事の答えをもって帰るだろうと》
- 328 盲人たちの声は造物主に聞き届けられました
光がすぐに彼らに戻って来ました
聖なる力で闇が逃げ去ったのでした

異形が全く完璧にもどりました

329 彼らが失くした光を見たとき
すぐに大きな恐れを感じました
丸一日記憶が混乱して
何も思い出すことができませんでした

330 丸一日して彼らは記憶を取り戻して
彼らの要求がすっかり達成されたのを見ました
彼らは神と高潔な方に感謝し
案内人を忘れて彼らの家に帰りました

331 神が非常に愛していた貴重な体の前に
常に明かりのついたランプが下がっていました
昼も夜も油が切れることはませんでした
用務係が芯を変えるとき以外は

332 そのような時にある宵の口に起こりました
聖ヨハネの祭日の前夜でした
修道院の人々に油が切れました
燃やす物は何もありませんでした

333 用務係はひどい間違いをしたと思っていました
油がなかったのでとても混乱していました
買うことも借りることもできず
墓が照らされていないのが苦痛でした

- 334 完璧な力を持つ天の王は
自分の僕たちを絶えず愛していました
哀れみでこの不足を見て
大々的な助けを送りました
- 335 休息の時である夜が来た時
用務係が墓を見に入って来て
祭壇の前でランプが灯っているのを見ました
買ったことのない上質の油でいっぱいになって
- 336 その良き男は非常におどろきました
こんなに明るい光とこんなに純粋な油に
それが行商人から買ったものではなく
天から神が送った物であることが分かりました
- 337 人々は鐘を鳴らし、大声をあげました
参事会員たちは創造主を賛美し
聖なる証聖者を崇拜しました
我らの主なる神にそのように受け入れられたことを
- 338 翌日人々はより良い考えを思いつきました
別の油を入れ、その油は取っておきました
それは聖なる物で、非常に効能があったので
多くの悩める病人を治しました
- 339 何時でも何らかの病でやって来る人々は

毎日で日々多数でした

人々は彼らにその油を塗ると、病が軽減しました
彼らは薬を探す必要が全くありませんでした

340 彼らの中に難儀している一人の女がいました

体に二重の病をもっていたのです

足は萎え、視力は曇っていました

その哀れな女はひどく閉じ込められた状態でした

341 人々は彼女の苦痛を感じているところに油を塗りました

彼女の目と足はうめき声をあげていましたが

すぐに創造主のおかげですっかり治りました

そして聖なる証聖者の聖なる力のおかげで

342 プラド²²⁾ の町には二人の善人がいました

二人はお似合の夫婦でした

彼らには神から授かった小さな娘がいました

彼らは全財産よりも彼女を愛していました

343 もう少女は三歳になっていました

両親はいつも彼女を着飾っていました

その少女はかわいそうに重い病気を背負うことになりました

非常に重かったので死にそうでした

344 このために両親は混乱していました

自分自身の死よりももっと苦しんでいたでしょう

彼らは狂ったように声を上げていました
というのは彼女のために目が激情に駆られていたからです

345 娘のことを心配して両親は二人とも
ある事に关心を向けました
墓に彼女を連れていいくことに、そこから皆
来た時は苦しんでいてもすっかり元気になって帰って行きました

346 娘に準備して道に就きました
油と蠟の素晴らしい供え物をもって
しかし一日目が終わる前に
少女は死んでしまいました、彼女のためにこの事すべてがあった
のですが

347 両親は悲しみで気が変になり
髪の毛を引っ張り、服を裂きました
彼らと一緒に来た者たちは
傍で悲しみに暮れていきました

348 彼らに降りかかったすべての悲しみにもかかわらず
彼らは感覚を取りもしました
彼らは神に与えられた助けのことを考えました
なぜならそれは結局完璧なものだったからです

349 娘は死んでいたけれど彼女を連れていこうとしました
娘を託したのです証聖者に

生きているうちは彼の住まいを見ることができませんでしたが
死んで彼の傍に葬られるように

- 350 彼らは激しく泣きながら死体に準備を施し
聖なる体の前にそれを運び
マントで蔽い土の上に置きました
なぜならそれを見ると彼らは非常に大きな苦しみに襲われえたか
らです
- 351 修道院の修道士たちは非常に賢明な人たちで
この人たちが非常に悲しみに打ちひしがれていたので
食事をろくに取っていないと思いました
なぜなら彼らは知っていたのです、そのような悲しみにあっては
食べ物がまずいということを
- 352 修道士たちは彼らにすこし食事を取りに行くように頼みました
苦しみを和らげ、苦難を軽減するために
人々は死者を祭壇の前において
施しの食事を取りるために食堂に行きました
- 353 しかし苦難にひどく打ちひしがれていて
歩くことや泣くことに非常に疲れていたので
夕食を取ると各々少し眠ってしまいました
しかし苦悩ですぐに起きました
- 354 彼らが休憩している間に価値ある証聖者は

死んだ少女のために栄えある主に願いました
聖なる、力ある天の王は
非常に情け深いのでその願いを聞き入れました

355 ほどなく嘆き悲しむ人々が出てきました
握りこぶしで頭を打ちながら
すべての先頭にいる人々のうち父と母
彼らが最も苦しんでいる心の持ち主たちです

356 彼らは死んだ少女に会いに教会に行きました
ある者たちはお供で、他の者たちは泣くために
また他の者たちは葬儀と通夜のために
しかし神は事を別な風に望みました

357 彼らが祭壇を覗くや
死んだ少女が足で立っているのを見ました
生きですかり治って笑い遊んでいるのを
まるでその場で育ったように元気で

358 両親はこれを見たとき疑いました
他のすべての同行者たちも非常に驚き
一日中それを信じることができませんでした
なぜなら彼らがそのようなことを見るとと思わなかったからです

359 しかし彼らは最後に事を確信しました
栄えある力が彼らを助けたことを

彼らは神に感謝を捧げ、典礼文を歌いました
 美しい賛歌である「我ら汝神を褒め称えまつる」²³⁾ を

- 360 両親は非常に大きな喜びで涙しました
 すべての人々と聖職者たちも喜び
 皆その日が祝福されるように言いました
 そのような力を持った御方が生まれた日が

- 361 人々は大きな長い蠟燭を立て徹夜の祈りを捧げました
 彼らは朝課を聞き、朝のミサにあづかり
 盛大な捧げものをして
 非常に大きな喜びで住まいに帰りました

- 362 皆さん、栄えある証聖者の業績を
 ロマンス語でもラテン語でも語ることはできないでしょう
 私はそれをあなたたちに省略して最も重要なところを話したいと
 思います
 いつ彼が誓いを果たしたのか、どのように戦ったのかを

- 363 時は 612 年でした
 聖ミリヤンが亡くなったのは、これは確かです
 しかし 972 年でした
 彼が大々的に表彰されたのは

- 364 私たちが話したこの知らせから
 370 年経ちました

聖ミリヤンが亡くなって葬られてからです

その時彼は誓いを果たし、大きな栄えある賞をもらったのです

- 365 しかし私には当然のことと思われます
 その理由とどうしてそうなったのかを見つけることは
 というのはあなたたちがなぜそれが命じられたのかを分かった時
 あなたたちは言うでしょうそれを止める人は大きな罪を犯すこと
 になると

- 366 罪人つみびとであるキリスト教徒のせいで
 多くは悪人で犯罪者だったのですが
 自分の悪い過ちを改めようとしなかったので
 長時間不幸を味わいました

- 367 神は怒っていたので彼らを見捨て
 彼らは悪魔の支配下に落ちなければなくなり
 日々不正な行いに明け暮れていました
 神に見放された民として

- 368 彼らの中にひどい悪があったので
 神は異教の民に大きな力を与えました
 異教徒たちは彼らを大きな、ひどい逼迫の中に置いたのです
 類例を聞いたこともないような

- 369 異教徒の長であるアブデラーマン王²⁴⁾は
 すべてのキリスト教徒の不値戴天の敵ですが

あらゆる所に恐怖をまき散らしました
彼の手から逃れる方法は何もありませんでした

370 王はキリスト教徒たちに命じました、彼は地獄に落ちるよう

毎年彼に貢物として六十人の女を差し出すよう

半分は良い家柄の、半分は低い身分の

このような貢物を要求する者は地獄に落ちるよう

371 全スペインがこの隸属の中にありました

毎年習慣でこの貢物を送っていました

毎年このようなひどい汚辱がおこなわれていました

このことから抜け出す確かな方策はありませんでした

372 このすべての苦しみ、この死に値する恥辱は

レオンとカステイリヤにより根付いていました

しかしすべてのキリスト教徒は悲しんでいました

なぜならすべての人にとってこのことはひどい傷だったからです

373 キリスト教徒がこんなにひどい苦しみにあったことはありません

でした

キリスト教徒の女性たちをこのような憎しみの中に置かれていた
ので

女性がそのような大きな集団を抜け出ることは大変なことだった
でしょう

このようなひどい欺瞞は決して想像できませんでした

- 374 良い家柄の高貴な多くの婦人たちは
ひどく怒り、屈辱的な生活をしていました
それは非常に悪い事例で、とてもひどい行為でした
そのような貢物としてキリスト教徒が自分たちの婦人たちをモー
ロに与えるということは
- 375 心痛と涙、すべての悲しみ
このようなひどい破滅、このような死に値する罪は
天の王の心を痛めました
彼は望む時にたやすく悪を禁じる方です
- 376 天の王は彼らに怒っている^{いか}という強烈な印を彼らに示しました
彼らの振る舞いに非常に不満であると
そのために民全體がひどく驚いていました
というのは疑いなく滅ぼされるだろうと思ったからです
- 377 遅くなっても道理に思えます
私たちが読むことに従ってあなたたちに印を話すことが
なぜならあなたたちがそれを知ったら、私たちは固く信じます
私たちが言うことにあなたたちは驚くだろうと
- 378 初めに言うと、七月半ば²⁵⁾
八月に入る十四日前
太陽が妨げられて光を失いました
そのすべての役目を全く奪われて

- 379 この事が起こった日は金曜日でした
第一時から第三時まで²⁶⁾ 太陽は現れませんでした
もっと恐ろしい日には夜は明けませんでした
キリストが死んだ聖金曜日を除いて
- 380 それから九月になってすぐ
水曜日の昼にもう一度死にました
純粋の蠟燭よりも黄色くなつて
そして生き返る前に長い時間がたちました
- 381 すべての民がひどく驚きました
あたかも自分たちが滅ぼされるのを確信しているように
哀れな者たちは悲しみうろたえていました
涙を流し自分の罪を責めながら
- 382 それから少しして暗い夜に
キリスト教徒の民がこの苦しみの中にある時
空に大きな隙間が現れ
そこからとてつもなく大きな炎が出ていました
- 383 人々がこの印を見ている間
星が空を動いていき
空中でお互い傷つけあいながら飛んでいました
逃げつ戻りつしながら戦う人間たちのように
- 384 真夜中からさき夜明けまで

このけんか、この戦いは続きました
 恐怖がどんなに大きかったか言うことはできなかったでしょう
 というのはこの後他のことはすべてが冗談に過ぎませんでしたから

- 385 すべての人々は思って、固く信じていました
 世の終わりが来るだろと
 この心配を推し量ることができませんでした
 もしこの心配がもっと続いたら大きな恐れで破滅するでしょう
- 386 ひどい恐怖の強烈な驚きは
 過ぎ去っても人々を押しつぶしていました
 しかしそれをすっかり忘れる前に
 彼らにもっとすごい、もっとひどい他の恐怖が襲いかかりました
- 387 南東の熱い風が吹き
 それと怒り狂った火が一緒になり
 悪魔にそそのかされて西から広がり
 消えるまでに大きな害をもたらしました
- 388 それはエストゥレマドゥーラ帯に大きな損害を与えました
 町を燃やし、村を焼き
 都市と主な村を焼き
 無人の地にも村落にも大きな損害を与えました
- 389 火はサントファグント²⁷⁾に達し、一部を焼き

カリオン²⁸⁾ の半分近くが焼かれました
 もう少しで全フロメスタ²⁹⁾ がやられるところでした
 その中でカストウロ³⁰⁾ が無傷で残りませんでした

- 390 フォルニリヨス デ カミーノ³¹⁾ はひどく焼かれました
 離れた所にあるオテルダホス³¹⁾ も
 火は広く拡がっていたブルゴスを助けました
 というのは当時は人家のない所にあったからです
- 391 火はモネステリオ³²⁾ では前方にあるすべてを
 パンコルボ³³⁾ では十軒の家を、手を緩めようとしなかったので
 そして書にない多くの場所を焼きました
 そこでは火は悪ふざけと大笑いをしました
- 392 全キリスト教徒が混乱に陥りました
 気力が失ってしまったのでまったくありませんでした
 彼らは創造主が彼らの助けにならず
 長い間彼らを苦しめさえしたのだと思っていました
- 393 彼らは自分の過ちを知っていました、それは道を外れたものでした
 自分たちのせいでこんなに責められるのを知っていました
 彼らは言っていました：《ああ、哀れで、見放された民々だなあ
 我々がこの苦難から解放されることは決してないだろう》
- 394 完全な善である天の王は

彼にあっては慈悲の泉が決して枯れることがないのですが
彼らの悪行を気に留めず
彼らのところに戻り彼らを哀れもうとしました

395 この時天の王は彼らに幸運な君主を与えました
非常に力のある伯爵フェラン・ゴンサルベス将軍を
というのは罪が非常に大きく王たちが死んだので
カステイリヤ王国は伯爵領に戻っていました

396 彼はカステイリヤ王国の指導者で
ドン・ラミロ王はレオンに君臨していました
書が語るように、二人ともカトリック教徒でした
我々は日々彼らのために祈りを捧げるべきです

397 人々はこのことを正しくないと思いました
そのために彼らにこの苦難が降りかかるのを
彼らは反抗しあらゆる努力をしようと思いました
そのような貢物を払うより死ぬほうがましだったでしょう

398 彼らは背教者たちに伝言を送りました
もう決してこのような貢物を要求しに来ないように
というのは王国は彼らに対して結束しているのだから
もしそうしないと彼らは大惨事を被ることになるだろうと

399 しかしこのすべての要求に背教者たちは用意していました
城を準備して、町を封鎖してし

なぜなら一方はわずかで、他方は大勢でしたから
人々は戦場で対決することができないと思っていました

400 アブデラーマン王と他の異教徒たちは
キリスト教徒たちの言っているこの情報を知りました
もう少しで軽蔑のあまり手を噛んでしまうところでした³⁴⁾
さんざんな悪口ととてもひどい事を言って

401 物知りの老人たちと
宮廷の年かさの助言者たちは言いました
《望むなら私たちの言うことを聞いてください、友たちよ、そして貴人たちよ
私たちは身分は下ですが意見を述べましょう

402 我々は本当に、そして全く正気で言います
もしあなたたちがあなたたちの幸運を理解できるなら
あなたたちは神にその大きな恵みに感謝するでしょう
神はスペインをあなたたちの血筋に与えたいのです

403 確かに知りなさい、この事を疑ってはいけません
あなたたちが見たこれらすべての印は
すべてが彼らの悪の故であることを、まだそれを確かめられるでしょう
望みさえすれば彼らはあなたたちの手の内にあるのですから

404 我々は一番年かさの人たちが言うのを聞いていました

月は我々のもので、太陽はキリスト教徒のもので
月が陰るときは、我々は健康ではない
太陽が死ぬときは、鳶が喜ぶと

- 405 我々を怯えさせた火と風
他のすべての印が彼らに起こりました
運命があなたたちを許そうとしたことを知りなさい
運命がそれらを放っておいたことで、我々に大きな愛を示したの
です
- 406 あなたたちはましな状態にあって十分な道理があります
あなたたちが戦争を求めてないので、彼らが求めています
あなたたちの高潔さに謀反を起こしました
彼らは非常に高くつく貢物をあなたたちから取りました
- 407 もし良ければ、我々の考えはこうでした
まずライオンに飛びかかっていき
ラミロ王を破り、彼を道から排除し
そうすれば他の者たちは何の価値もなくなるでしょう》
- 408 不作法で出の悪い人々は
それが正しくまともなことを言っていると思い
彼らとその悪運に導かれました
彼らの言うことを聞かなかつたら、馬鹿なことはしなかつたでし
よう

409 彼らはこれらの言葉とこれらの予言を信じ
書簡と伝言が行きました
これらの知らせがわずかな日々で届き
人々と騎士たちが到着しました

410 異教の民が到着したとき
人数がどのくらいなのかほとんど数えられませんでした
大きな土地に野営して
端から端まで二レグワ³⁵⁾ ありました

411 言われていたように初動から
彼らは軍をレオン王国に動かしました
レオン人たちは決然として勇敢でしたが
この知らせにひどく驚きました

412 高貴な騎士であるドン・ラミロ王は
ロルダンもオリベルも力では彼に勝てなかつたでしょうが
確かな伝言であるこの知らせを知つた時
最初の日ひどく驚きました

413 彼は圧倒的な力の大きな障害を見ました
また多くのモーロ人とわずかなキリスト教徒を見たのです
彼がカスティリヤ人たちにそのことを伝えると
彼らは手を貸すと答えました

414 彼はその同じことをアラバの人たちにも伝えました

パンプロナの君主であるドン・ガルシア王にも
彼らは非常に丁重に答えました
二か月で皆彼と合流するだろうと

- 415 モーロ人たちちはその間休みませんでした
軍を王国に入れようとしました
見つけられる土地はすべて破壊していました
彼らに対して人々は自分自身を守る^{すべ}術がありませんでしたから
- 416 カステイリヤを指揮していたフェルナン・ゴンサレス伯爵は
事が心に重くのしかかっていたので、事を延ばしませんでした
彼が非常に重んじていたカステイリヤ人たちを招集しました
遅れて来た者は自分を不適格者だと思っていました
- 417 皆がこの取り決めに満足して
喜んでこの巡礼に行くことを望んでいました
皆が同意して、すぐにその道に就きました
モーロ人たちとの戦いに
- 418 ドン・ラミロ王は驚いていましたが
彼の確固たる心はすぐに変わり
王国全土から兵を集めました
というのは常に神に非常に力づけられていたからでした
- 419 双方とも時は近づいていました
対決の時がすでに来ていたからでした

どちら側がわなにはまるでしょうか
どちらが相手の背中を打つでしょうか

420 運のあるドン・ラミロ王は
利と分別のある良い方法を思いつきました
聖ヤコブをどうにか満足させ
この非常に困難な戦いにおいて自分の側に付かせるのです

421 王は臣下たちと修道士たちと話しました
そしてそこに集まっていた司教たちや修道院長たちとも
《私の話を聞きなさい》、と彼は言いました、《信徒や司祭の皆さん、我々の重大な罪が我々にひどい襲撃をもたらしました

422 しかし私はある事を決めました
もしあなたたちに正しい助言だと思えるなら
使徒ヤコブに相当の捧げものを約束することをです
彼はスペインの首席大司教でガリシアに憩っています

423 もし皆に気に入るなら私はこうしようと思いました
各家が三メアハ³⁶⁾ 相当を彼に捧げると
常に毎年決まった日に
もしこうすれば我々は喜びを見るでしょう

424 我々は常に彼の助けを頼むことができるでしょう
そして彼は常に我々に逆境における備えとなるでしょう
神が彼の祈りによって我々を助けてくれ

これらのコインが他のすべての事を守ってくれるでしょう》

425 レオンの人たちは王が正しいことを言っていると思い

彼らはそれが信頼できる助言だと確かに思いました

それは信徒や司祭達にすぐに認められ

後に特典書類で確かめられました

426 フェルナン・ゴンサルベス伯爵は彼の全軍と共に

戦いに参加しました、皆準備を良く整えて

彼らがこの知らせを聞くと、事が準備されていて

すべてがよく取り決められたと思いました

427 すべてのカスティリヤ人たちは会議を開きました

寛大な人物で彼らの君主である伯爵と

《私の話を聞いてくれ》、と伯爵は言いました、《友たち、兄弟たちよ、

レオン人たちは良きキリスト教徒として行動した

428 慎重な男たちは良い助言を受けました

彼らは同時代の人たちに良い例を残しました

この人達はこの世でこんなに素晴らしい助けを見つけることはないでしよう

伯爵は言います、モーロ人たちは必ず破られると

429 しかし私はあなたたちに心を全部開いて見せたい

私たちがもう一つの約束をすることを望みたい

聖ミリヤンに捧げもの送ることを
レオンの王がその聖人に送るような

- 430 聖ミリヤンは神にとても愛された価値ある証聖者です
生きていても死んでも常に力ある人でした
彼に慈悲を乞うた人は決して拒否されませんでした
我々が直面しているこの事において彼は神との良き仲介者となる
でしょう
- 431 彼は王国の第一人者で、尊ばれる存在です
スペイン人たちの守護の聖人です、使徒（ヤコブ）を除いて
男たちは、彼をあがめよう、そしてこの贈り物を彼に捧げよう》
皆彼に答えました：《ご主人様、とても喜んで》
- 432 その時伯爵は言いました：《この事は確かでしょう
もし神が我々を助けてくれるなら、神は我々に満足するでしょう》
戦いが終われば、それがしっかり確かめられますように
その事は書に書かれ、特権が与えられます》
- 433 軍が動かされ、行軍が始まりました
侮辱されていた王を助けるために
しかし前衛が到着すると
王たちはすでに耕地を踏んでいました
- 434 すでに両軍は戦場にあり

両王は攻撃し合いました
モーロ人の軍はすでに混乱していました
キリストの怒りが彼らを混乱させていたからです

- 435 ここにいる皆さん、そして友たちよ
もし聞きたいのなら、あなたたちは知ることができます
あなたたちが知っている貢物が彼らにどんな助けをもたらしたのか
そして神がそのためにいかに彼らに恵みを施したのか
- 436 王たちは軍を用意して戦場にあって
槍を下げて攻撃しあいました
キリスト教徒たちは敵方を恐れていました
彼らは数が少なく、敵方は非常に多かったからです
- 437 良き人々がこの困難にあった時
天に向かって注意していると
彼らは美しく輝く二人の人を見ました
その人たちは新雪よりもずっと白い色でした
- 438 その人たちは水晶より白い二頭の馬に乗って来ました
人が見たこともない武器を携えて
一人は杖を持って、司教の頭巾をかぶっていました
もう一人は見たこともない十字架を持っていました
- 439 彼らは天使のような顔と天上の姿をしていて

すごい速さで空を降りて来ました
恐ろしい形相でモーロ人達を見つめ
恐怖の印である剣を手に

440 キリスト教徒達はこれでさらに活気づき
膝を折って地に跪きました
皆拳を握って胸を打ち
神に罪の償いを約束しました

441 騎士たちが地面の近くに来ると
モーロ人達に確かな攻撃を加えました
騎士たちが最前線の兵士達に大きな損害を与えたので
恐怖が最後列の兵士達に届きました

442 天からやって来たこれらの二人が帰ると
キリスト教徒達は元気付き攻撃し始めました
モーロ人達は彼らの信仰によって誓って言いました
今までにこんな窮地に陥ったことはないと

443 不信心者のモーロ人達は非常に大きな困難に落ち入りました
ある者は記憶を失くし、他の者は恐怖に駆られました
彼らはそこに来た事を非常に後悔していました
戦いが悪い結果になることを知っていたからです

444 彼らに思ってもみなかった別の事が起こりました
モーロ人達が放った同じ矢が

戻って来て自分たちに突き刺さったのです
彼らが行った恥ずべき行為を高く買うことになったのです

445 彼らが要求していた婦人たちをもうやめるでしょう
もし彼らに機会を与えれば連れ去った婦人たちを返すでしょう
その様なことを成し遂げ準備出来る神
その様な主は仕え、祈るに値します

446 民と君主たちは皆分かりました
天から来た二人の騎士たちは
その二人に彼らが捧げ物をした人たちであり
それを受け取る前にそれを正しいこと認めた人達であったと

447 司教の頭巾をかぶり、手に杖を持った人は
その人は聖ヨハネの兄弟である使徒聖ヤコブでした
十字架を持って平らな頭布をかぶった人は
それはコゴリヤの人聖ミリヤンでした

448 彼らは無駄に捧げ物を取ろうとしたのではありませんでした
まずそれを得て汗を流そうとしました
その様な方たちは仕えて敬うに値します
苦難にすばやく駆けつけることを知っているからです

449 モーロ人たちを指揮していたアブデラーマン王は
戦いが彼に非常に不利に運んでいるのを見ると
自分がその中にあった戦闘を見捨てました

というのは相手方が激しく攻撃していたからです

- 450 すべての彼の臣下が戦場を捨てました
敗北した高貴な非常に家柄の良い多くの男たちが
王は自分の居場所のために汚い大金を払い
伝言で人を送ろうとしませんでした
- 451 彼らがアブデラーマンが移動したのを知るや
その大軍はたちまちバラバラになり
すべての力とすべての分別を失い
敗北した民のように混乱に陥りました
- 452 モーロ人たちは混乱して感覚が乱れました
敢えて逃げることも引き返すこともできませんでした
モーロ人たちの侮蔑にもかかわらず
戦いは神と聖人たちと共に勝利をおさめました
- 453 しかし自分の任務を果たしたと望む者たちは
戦場で死ぬまで戦っていました
助かって逃げようとする他の者たちのうち
助かることができた者は非常にわずかでした
- 454 私たちはアブデラーマン王については逃げたかどうか知りません
しかし彼の全軍は壊滅に至りました
彼らは決してもう貢ぎ物を求めるに来ませんでした
キリスト教徒たちは大きな苦しみから解放されました

- 455 モーロ人たちはこの戦いで二つのモーロの旗印を失いました
それによってその世代が常に苦しむことになりました
彼らは非常に高潔な人物である主教と
その信仰が描かれていた本を失ったのです
- 456 それを知りたい人はこの事を良く理解するように
なぜならそのように私たちは読んでいますし、言い伝えがそう言
っています
この戦いはカンポ・デ・トロ³⁷⁾で起りました
そこでキリスト教徒たちはモーロ人たちからこの賠償を得ました
- 457 戦いに勝利し、モーロ人たちは追跡され
キリスト教徒の権威ある男たちは自分たちの天幕に戻りました
非常に疲れていたので武器を捨て
快活に満足して好きなように休息しました
- 458 翌朝祈りが終わると
王の臣下たちは会議を開きました
非常に多くの戦利品を分け合い
聖なる教会はたっぷりとした分前にあずかりました
- 459 戦利品を分け合うとすぐに
神と聖人たちに感謝を捧げるとすぐ
彼らは約束した捧げ物を確認しました
最初に攻撃を仕掛けた二人に対する

- 460 ドン・ラミロ王は、彼が天国に在ります様に
約束したように使徒聖ヤコブを継ぎ
思慮深い人のように使徒におくる貢ぎ物を確かめました
王国には寄贈しなかった家はありませんでした
- 461 フェルナン・ゴンサルベス伯爵は彼のすべての臣下と共に
司教たちや修道院長たちや判事たちや執達吏たちと共に
毎シーズンささげることを表明し誓いました
聖ミリヤン修道院にこれらの僅かな捧げ物を
- 462 パレンシアを流れる川を渡り
それは私の考えではカリオンという名なのですが
アルガ川までこの決定の下にあり
各家がその誓いを立てるという決定の
- 463 それはエストゥレマドゥーラとセゴビアの山脈を超え
アラボヤ³⁸⁾ という別の山脈に至り
それからビトリアの先にある海³⁹⁾ まで
皆この伝承に支配されました
- 464 そして町は小さいものも大きいものも誓いを立てました
これから人の住む町も、住んだ町も
誓いはローマの教皇によって確認されました
そうしなかったものは破門されました
- 465 人々はその事に十分な緩和策を施しました

怒りや大きな苦しみを避けるために
そして評価に他の基準を設けました
土地にはより多くの評価を与えるという

- 466 ある土地は葡萄酒を産し、他の土地では硬貨を産します
いくつかの土地では穀物を産し、ある土地ではヒツジを産します
アラバからは鉄と鋼鉄の型がもたらされます
カンベロス⁴⁰⁾ 全域でチーズを供物にします
- 467 各々の土地が命じられた物を負うています
この事が抜粋された文書がそう言っています
しかしどの様にしてかは私は知りません、すべてが変わりました
から
何にしろ事はとても重大です
- 468 フィテロの近くにあるフロミスタ デル カミーノ
エレーラとそこにある町々、その丘にあるアビアは
八世帯が羊を送らなければなりませんでした
それで早い時期に送っていました
- 469 アマヤとその土地、そしてイビアの別の土地
各々の家が一コード⁴¹⁾ の毛織物を差し出さなければなりません
した
バルディビエルソの地は1つの谷ともう一つは
各々の世帯が一コードの長さの亜麻布を差し出さなければなりません

470 オビエルナとウルベル川、そしてそのすべての地域
 カストゥロとビリヤディアゴそして全トゥリビニイオは
 八世帯が会議の決定によって
 この聖なる奉仕で羊一頭を送らなければなりません

471 フィテロという名の両方の村
 三番目のフィノホサ、四番目のビリヤゴドゥレロ
 五番目のビリヤディアゴは初めてなので
 各々の納税者が一コドの毛織物を負うています

472 メルガルとアストゥディエリヨでは誓いで定められました
 各世帯が一樽の葡萄酒を納めると
 サンタ・マリア デル ペラヨと呼ばれている所では
 各家は年に一コドの毛織物を負うています

473 バルデサルス、バルドルミエリヨス、キンタナトリノソ
 ビリヤラインビスティアとトルケマダ
 平野があるタリエゴの上の地域、
 モンソンとバルタナスは家ごとに
 そのすべての地域と共に硬貨での支払いを負うています

474 シビコ デ ラ トッレとシビコ ナペロスでは
 納税者はロウソクを三メアハ分収めなければなりません
 バルブエナ、パレンスエラ、アゴシン、エスクデロスと
 非常に豊かな葡萄酒と耕地のあるムニヨンでは
 十六の世帯が二頭の羊を送らなければなりません

- 475 地名が混乱していて、語尾を一致させるのが困難です
私たちは全てに韻を踏ませることができません
私は事をもっと平易にあなたたちに話したいと思います
大変な手間をかけて流れを害するよりも
- 476 私たちはあなたたちに多くの町のことを話しましたが
他のこの地の多くを言い残しました
なぜならあるものは時とともに忘れられたり
他のものは当時人が住んでなかつたりしたためです
- 477 大きいものも小さいものも人の住んでいない所も、住んでいる所も、
皆この捧げ物をする事を表明し
確かにこうしない所は
疑いなく信じるように、呪われることになると
- 478 私たちは言うのを何度も聞きました
この捧げ物を拒んだ者たちは
その故に苦しみを見ることになり
それがとても大きかったので二倍の物を納める事になったと
- 479 もしこれらの捧げ物が忠実に送られたなら
これらの価値ある聖人たちは私たちに満足して
私たちはパンと葡萄酒と温暖な天候を得て
悲しみに打ちひしがれることはないでしょう
- 480 友たちよ、そして皆様方、あなたたちは理解できます

この二人の聖人たちにあなたたちは借りがある事を
 この事をしっかりと心に留めなさい、そうすればあなたたちはとても
 楽になることを
 あなたたちが彼らに負うているものをちゃんと彼らに送れば

- 481 彼らは見事にそれを得ました、そしてそれに十分値しました
 何故なら助けてもらった苦難が大きかったからです
 神が彼らに与えた恩寵を私たちにくださいますように、彼らは好
 機に生まれたのですから
 彼らは生きている時に善行を行い、死後にはさらなる善行を行
 ました

- 482 私はあなたたちに聖ミリヤンの話に戻りたい
 私たちの話を続け、私たちの道筋を守り
 わずかな詩歌で私たちの作品を終わり
 《さらに汝主よ》⁴²⁾ と言って課業を終えたい

- 483 天の王は忠実な僕に^{しもべに}
 特別な贈り物である大きな特権を与えました
 大旱魃の時には彼は嵐の向きを変えます
 皆が雨を求めて彼の戸口にやって来ます

- 484 人々が信心深く彼の祈禱室に行き
 彼が最初に横たわった所から彼の体を運び出すと
 この事は私がこの目で見たので、私は確信しています
 神がすぐに雨と温暖な天気を贈ってくださいます

485 二つの小さな鐘が彼の祭壇の上に下がっています

王冠を吊るす綱で

二つの卵より大きくありません

よく見なければ判らないでしょう

486 それらは大きな素晴らしい力を持っています

何か恐ろしい事が起ろうとすると

偉い人の死とか危険な事とかが

それらが奇跡的に自然に鳴るのです

487 このように創造主の栄光を見る事ができるのです

私の耳でそれらが鳴るのを聞いたのですから

この事には多くの証人がいるでしょう

十分信じるにたる剃髪した人々など

488 大変な価値のある他の多くの高貴な事が

聖なる証聖者の修道院で起こっています

神がその聖なる恩寵で我々にその愛を与えて下さるように

創造主のお陰でこの書は終わります

489 この書を書いた人はゴンサロという名でした

彼は幼少期からサン・ミリヤン・デ・スソ修道院⁴³⁾で育てられ

ベルセオ村の出身で、そこで聖ミリヤンは生まれました

神が悪魔の力から彼の魂を守って下さる様に

(アーメン)

注

- 22) Pradillaのことか、はっきりしない
- 23) この部分ラテン語 Te Deum Laudamus
- 24) コルドバのカリフ・アブデラーマンⅢ世
- 25) 日食のことで、正しくは 939 年 7 月 19 日に起こった
- 26) 当時は日の出から日の入りまでを 12 に分けていた
- 27) Santfagunt レオンの町で現在の Sahagún
- 28) Carrion de los Condes で Palencia の町
- 29) Fromista, Carrion 南東の町
- 30) Castro, Castrogeriz のことで Burgos の西の町
- 31) 両方とも Burgos の町
- 32) Monasterio de Rodilla のことで Burgos の町 Briesca
- 33) Miranda de Ebro の町
- 34) 軽蔑のしぐさか
- 35) 一レグワは約 5572 メートル
- 36) カステイリヤの少額コイン
- 37) サモラの沃野
- 38) バラオナ高原
- 39) ビスケー湾
- 40) ログロニョとソリアの間の地方
- 41) 長さの単位、約 42 センチ
- 42) この部分ラテン語で交誦の終末の語句 Tu autem Domine
- 43) サン・ミリヤン修道院は日本流に言うと上社と下社がありこれは上社

参考図書・辞書

- BIBLIORECA CASTRO OBRAS COMPLETAS DE GONZALO DE BERCEO
 The Collected Works de Gonzalo de Berceo ACMRS Arizona 2008
- Diccionario Medieval Español Martín Alonso Universidad Pontificia de Salamanca 1986
- Diccionario de Castellano Antiguo Manuel Gutiérrez Tuñón Editorial Anfonsípolis 2002
- Tentative Dictionary of Medieval Spanish Lloyd A.Kasten and Florian J.Cody The Hispanic Semi-
 nary of Medieval Studies New York 2001
- Diccionario de la Lengua Española Real Academia Española Espasa 2001
- スペイン語大辞典 白水社 2015